

にこにこハウス医療福祉センター生活介護ご利用の皆様  
新型コロナウイルス（COVID-19）の感染対応について（第2報）

2020年3月4日  
施設長 河崎洋子

いつも当センターの運営にご協力ありがとうございます。

国内で新型コロナウイルス（COVID-19）の感染がいよいよ神戸市でも報告されました。新型コロナウイルスの疫学調査が進む中で、この感染症の特徴や対策が示されてきています。北海道での流行を踏まえた国の専門家会議の見解が示されましたので、抜粋を添付いたしますが、ポイントとしては①症状の軽い人が気付かないうちに感染拡大に重要な役割を果たしてしまっている事、②屋内の閉鎖的な空間で人と人が至近距離で、一定以上交わる事によって、患者集団が発生する可能性がある事が示されています。

2月18日に「神戸市での感染の流行が確認された際には、開所縮小：感染機会の増える送迎は乗り合いせず基本的には自家送迎での登所とする。ただし週1回の入浴日は希望者には単独で施設送迎する。当センターで罹患者が出れば、生活介護事業は休止。」とお知らせをさせていただきました。昨日の時点で神戸市内にて2名の発症を認めましたが、流行→開所縮小との判断は時期尚早と考えます。送迎については、現状通りの体制で準備をしていますので利用は可能です。しかし、閉鎖空間での感染のリスクが高いと示されていますので、現段階では自家送迎が可能な方には自家送迎で登所される事をお勧めいたします。感染リスクを減らす対策として自家送迎を選択される場合には、事前にお知らせ下さい。

今後神戸市内での発症者が10名前後に増加した時点で開所縮小の対応に移行させていただく予定です。

また外来診療において、新型コロナウイルスの感染拡大を防止する観点から、慢性疾患などを有する定期受診患者などが継続的な医療・投薬を必要とする場合に、電話や情報通信機器を用いた診療によりファクシミリ等による処方箋情報の送付等の対応が可能との指針が出されましたので、当センターでもカニューレ交換やペグ交換が不要な方の内服処方とスマイル面談につきましては電話対応を可能といたします。従来予約時間枠で電話での診察となりますので、ご希望の方はお申し出ください。（詳細はホームページをご参照ください。）

ご協力よろしく申し上げます。

## 「屋内の閉鎖空間 急速拡大も」国の専門家会議見解

NHKニュース・防災 2020年3月2日

### 国の専門家会議が示した「見解」のポイントは

- ・症状の軽い人も、気がつかないうちに感染拡大に重要な役割を果たしてしまっていると考えられる。
- ・屋内の閉鎖的な空間で、人と人が至近距離で、一定時間以上交わることによって、患者集団「クラスター」が発生する可能性が示唆される。
- ・そして、「クラスター」が次の「クラスター」を生むことが、感染の急速な拡大を招くと考えられる。
- ・重症化する患者は普通のかぜの症状が出てから、およそ5日から7日程度で、症状が急速に悪化し、肺炎に至っている。
- ・北海道では、この1～2週間の間に人と人との接触を可能なかぎり控えるなど積極的な対応を行えば感染拡大を急速に収束させることが可能。
- ・しかしそうしないと急速に感染者が拡大するおそれ。
- ・日本では社会機能を可能な限り維持しつつ、感染拡大を可能なかぎり抑制することが求められている。
- ・そのためには次のような行動を。
  - ①軽いかぜの症状でも外出を控えること。
  - ②風通しの悪い空間で人と人が至近距離で会話する場所やイベントにできるだけ行かないこと。
- ・事業所などにおける活動も、テレワーク、リモートワーク、オンライン会議など、人が接触しない形態を大いに活用を。